

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●大野騎手が500勝、西谷騎手が200勝、荻野極騎手が100勝を達成

1月27日(日)の1回東京2日・第8レースではハルクンノテソーロが1着となり、同馬に騎乗した大野拓弥騎手(美浦・フリー)は、史上98人目、現役では36人目となるJRA通算500勝(9445戦目)を達成しました。同日の1回中京4日には、第4レースでトアツキヒカリが1着となり、同馬に騎乗した西谷誠騎手(栗東・フリー)が現役59人目となるJRA通算200勝(1667戦目)を達成。第10レースの熱田特別ではモザイクが1着となり、同馬に騎乗した荻野極騎手(栗東・フリー)が現役90人目となるJRA通算100勝(1812戦目)を達成しています。

### ●重賞ウイナー6頭の競走馬登録抹消

2018年マーメイドS(GⅢ)の勝ち馬アンドリエッタ(牝6歳/栗東・牧田和弥厩舎/JRA通算29戦4勝)、2014年サウジアラビアロイヤルC富士S(GⅢ)の勝ち馬ステファノス(牡8歳/栗東・藤原英昭厩舎/JRA通算26戦4勝・海外5戦0勝)、2017年京都大賞典(GⅡ)などの勝ち馬スマートレイアー(牝8歳/栗東・大久保龍志厩舎/JRA通算33戦9勝・海外2戦0勝)、2014年京都新聞杯(GⅡ)の勝ち馬ハギノハイブリッド(牡8歳/栗東・松田国英厩舎/JRA通算27戦4勝)、2016年函館記念(GⅢ)の勝ち馬マイネルミラノ(牡9歳/美浦・相沢郁厩舎/JRA通算53戦8勝)、2017年エンプレス杯(川崎・JpnⅡ)などの勝ち馬ワンミリオンズ(牝6歳/栗東・小崎憲厩舎/JRA通算12戦4勝・地方8戦2勝)は、1月30日(水)までに競走馬登録を抹消されました。アンドリエッタは北海道日高町の森永牧場、スマートレイアーとワンミリオンズは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となり、ステファノスはニュージーランド、ハギノハイブリッドは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬、マイネルミラノは北海道新冠町のビッグレッドファームで乗馬となる予定です(年齢は抹消時)。

### ●ジェネラーレウーノが故障

2018年朝日杯セントライト記念(GⅡ)などの勝ち馬ジェネラーレウーノ(牡4歳/美浦・矢野英一厩舎)は、右前浅屈腱炎を発症していることが判明しました。今後9か月以上の休養を要する見込みです。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●川崎記念(川崎)でミツバがJpnⅠ初勝利、父子制覇

川崎記念(JpnⅠ、1月30日、川崎、2100m)は、6番手から差を詰めた3番人気のミツバ(和田竜二騎手、牡7歳、父カネヒキリ)が、残り100mで前2頭の間を割って差し切り、3度目の重賞勝ちがJpnⅠ初制覇となりました。先に抜け出した2頭の2着争いは、単勝1.2倍で圧倒的人気の昨年の覇者ケイティブレイブが2番人気のオールブラッシュをアタマ差捉え、アポロケンタッキーは4着、コパノチャリーは5着、逃げたサルサディオネは7着でした。

### ●佐々木竹見CジョッキーズGPはJRAの戸崎圭太騎手が優勝

1月29日に全国からリーディングジョッキーを集め、川崎競馬場で2レースのポイント制で争われた佐々木竹見Cジョッキーズグランプリは、4、2着という成績で戸崎圭太騎手(美浦)が優勝。クリストフルメール騎手(栗東)は6、9着で第8位に終わっています。

### ●アンタエウスが新春ベガサスCを圧勝【各地の主要3歳重賞】

新春ベガサスC(1月16日、名古屋、1600m)は、2番手から3コーナーで先頭に立ったアンタエウス(牡、父ヨハネスブルグ)が後続を5馬身引き離し、単勝1.2倍の圧倒的支持に応えました。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●2018年エクリプス賞～米年度代表馬はジャスティファイ

アメリカのエクリプス賞が1月24日に米フロリダ州のガルフストリームパーク競馬場で発表され、2018年の年度代表馬にジャスティファイ(牡3歳=年齢は2018年時点、父スキヤットダディ)が選ばれました。ジャスティファイはG1ケンタッキーダービー、G1ブリークネスS、G1ベルモントSに勝って史上13頭目の米三冠を達成。無敗での米三冠制覇は史上2頭目のことでした。

### ●米G1ペガサスワールドCターフ～エアロリットは9着

1月26日に米フロリダ州のガルフストリームパーク競馬場で行われた第1回のG1ペガサスワールドCターフ(3歳上、芝1900m、総賞金700万ドル)はブリックスアンドモルタル(牡5歳、父ジャイアンツコーズウェイ、C.ブラウン厩舎)が差し切って優勝。G1初制覇を大一番で果たしました。日本から参戦のエアロリットは先行しましたが3コーナー過ぎで手応えを失って9着でした。なお、この1レース後に行われたG1ペガサスワールドC(3歳上、ダート1800m、総賞金900万ドル)は昨年のG1ブリーダーズCダートマイルの勝ち馬シティオブライト(牡5歳、父クオリティロード、M.マッカーシー厩舎)が5馬身 $\frac{3}{4}$ 差で完勝。米ケンタッキー州レーンズエンドファームでの種牡馬入りに花を添えました。